



【展覧会名】 リフレクション

【会 期】 2021年12月18日(土)～2022年3月6日(日)

※休館日 毎月第3火曜日、12月29日(水)～2022年1月1日(土・祝)

【開館時間】 9:00～16:30 ※入館は閉館の30分前まで

【会 場】 石川県能登島ガラス美術館 展示室1、2

【作品点数】 約 40点

【同時開催】 展示室3／中国清朝のガラス工芸 展示室4／20世紀の巨匠とガラス

【観 覧 料】 一般800(700)円、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

【主 催】 石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

【お問合せ】 石川県能登島ガラス美術館

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10

TEL:0767-84-1175 FAX:0767-84-1129

E-mail: glass@nanao-af.jp

■展覧会について

光や音の反射、投影などを意味する「リフレクション(reflection)」は、ガラス最大の特徴のひとつです。ガラスの表面や内部に施された加工は、様々な光の反射をもたらします。この素材としての特徴に加えて、作家たちは独自の視点をガラスに投影し、個々の作品を生み出しています。過ぎた時代や訪れた土地、取り巻く人々、そのどれもが、制作する上で彼らには必要なものでした。当館の現代ガラスコレクションを通じて、作家の心に刻まれた印象や思考、時代性を文字どおり投影するメディアとしてのガラスを考察します。

■会期中のイベント

「冬はガラ美でほっこり！セレクトワークショップ」

年齢問わず気軽に楽しめる、ガラス工作のワークショップ。月ごとに異なるメニューで実施します。

12月 「いろどりのジェルキャンドル」

好きな色を組み合わせたジェルキャンドルを作ります。

1月 「ミニルーターでガラス彫刻」

鉛筆型の電動ルーターを使ってガラス器に絵を彫刻します。

2月 「ぺたぺたモザイク・ガラス」

様々な色や形のガラスパーツを貼り合わせて作ります。

日 時 12月～2月の毎週土・日、祝日

①13:30～ ②14:15～ ③15:00～

会 場 館内 会議室

対 象 どなたでも

定 員 各回 5名(事前申込可) 定員に達し次第締切

参 加 費 500円(高校生以上は別途当日観覧券が必要)

※詳細は当館HPでお知らせします

■広報用画像

画像1～6を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、美術館までお申し込みください。

TEL: 0767-84-1175 / FAX: 0767-84-1129 / Email: glass@nanao-af.jp

1



2



3



4



5



6



7



作品キャプション

1	Layers of Light -Moon- #6／小島有香子／2010年／撮影：岡村喜知郎
2	育まれしもの-いのち／小林 貢／2008年／撮影：岡村喜知郎
3	Chernobyl-Fukushima／パヴェル・ヴォイニトスキー／2015年／撮影：岡村喜知郎
4	変わりゆくもの I／渋谷良治／2000年
5	Woven Glass 夢／橋本和代／1999年
6	掌からつたわる信号／小田橋昌代／2012年／撮影：岡村喜知郎
7	barracks/赤い窓／岸本耕平／2010年／撮影：岡村喜知郎

* 全て、石川県能登島ガラス美術館蔵

<使用条件>

- ・広報用画像の掲載時には各画像のキャプションおよびクレジットを明記してください。
- ・トリミング、画像への文字乗せはご遠慮ください。
- ・情報確認のため、校正紙を当館までお送りください。